

# 国語科学習指導案

授業者：2年1組 高田 真貴  
2組 横儀 美里  
3組 権田 好寛

- 1 学年・組            2年1組（27名）    2年2組（26名）    2年3組（27名）  
2 単元名            「がまくんとかえるくん」げき場をひらこう    「お手紙」  
3 単元について

○ 本単元では、学習指導要領「C読むこと」（ウ）「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」をねらいとしている。そのために、登場人物の動きや台詞の言い方を工夫して、お話を音読劇で表現する言語活動を設定した。叙述を基にお話を音読劇で表現することで、場面の様子について想像を広げながら読む力がつくと考えられる。

教材文「お手紙」は、手紙をもらえずに落ち込んでいるがまくんと、そんながまくんを何とかして喜ばせようとするかえるくんの心のふれあいが描かれた物語である。児童は、ちよっぴり投げやりでわがままながまくんと、相手を思いやる優しいかえるくんとのやりとりを、共感的に読み進めていくであろう。また、二人の会話や行動から話が展開していくため、登場人物の心情の変化が豊かに想像できる作品と言える。児童は、役を演じる中で、自然に動きを工夫したり、会話文の読み方の工夫を考えたりしながら、読みを豊かにしていくと考えられる。

○ 児童は、1学期に「ふきのとう」では音読劇を、「スイミー」ではペープサートによる劇を行った。これらの活動を通して、登場人物の動きを動作化したり、場面の様子から登場人物の台詞を想像し書き加えたりする言語活動を経験してきている

今回、「うめの花とてんとう虫」（平成8年度版東京書籍）でレディネステストを行った。児童の実態は以下の通りである。

内容		正答率 (%)	誤答率 (%)	無答率 (%)
① 場面設定（時）をとらえている。	本文から見つける。 （はるのはじめ）	97	3	0
	本文の言葉から解釈する。 （お月さま・こんや → よる）	76	24	0
② 誰の行動か（くしゃみをしたのは誰か）をとらえている。	本文から見つける。 （お月さまがかおを出して、「はっくしょん。」とくしゃみをしました。）	92	8	0
	本文の言葉から解釈する。（2問正解） （「くしょん。」…一つうめの花がさいたのです。） （「くしょん。」…うめの花のすぐそばでてんとう虫がふるえています。）	62	38	0

以上の結果から、場面設定、登場人物、行動に関する叙述を見つけることはできるが、直接書かれていないことを叙述から想像し、解釈する力に課題があることが分かった。

また、協働的に学ぶ児童の実態を把握するために、アンケートを実施した。協働的に学ぶ児童の実態は以下の通りである。

(1) 自分の考えを書くことができる。	93%
(2) ペア学習やグループ学習をすると、自分の考えに自信がもてたり、勉強がよく分かったりする。	80%
(3) ペア学習やグループ学習では、友達の考えに質問したり、感想を言ったりしている。	74%

以上の結果から、自分の考えは書くことができ、ペア学習やグループ学習で自分の考えを発表することはできるが、友達の考えに対して反応を返すことが十分にできていないことが分かった。

## 児童実態からみる課題

### 【課題となる力】

- 叙述を基に想像を広げながら読む力。
- 友だちの考えを受け入れながら話し合う力。

### 【指導上の課題】

- 叙述から「時」「場所」「行動」「様子」を見つける指導が中心で、「行動」は動作化させてきたが、そこから想像を広げさせる指導が不十分であった。
- 何のために話し合うのかという話し合いの目的をもたせることができていなかった。

- 指導にあたっては、まずは教師が単元のつきたい力に沿って教材分析シートを作成して、この単元のつきたい力を明確にする。そして、自分達が選んだ作品でがまくんとかえるくんの心のふれあいが伝わるような音読劇をすることを単元のゴールに設定する。

この課題解決に向けて、0次では、「がまくんとかえるくん」シリーズの本を教室に並べておき、自由に手に取って読める環境を作っておく。第一次では、「ふきのとう」や「スイミー」の学習で行った言語活動を想起させた後、教師が「お手紙」を範読し、学習への意欲づけをする。その後、つきたい力を確認し、児童と共に単元のゴールを決め、学習計画を立てていく。第二次では、「お手紙」を読んで、がまくんとかえるくんの会話や行動を整理し、場面の様子をとらえさせる。その際、動作化させることで、登場人物の位置や向き、動きなどを考えやすくさせ、音読劇に生かせるようにする。音読劇の工夫の観点は児童と共に考えて、その観点は常に掲示しておき、児童はそれを参考にしながら、各自の台本に工夫を書き込むようにする。第三次では、「お手紙」で学習したことを生かして、グループごとに「がまくんとかえるくん」シリーズの別の作品の音読劇に挑戦させる。このときには、一人読みの中で音読劇の工夫をそれぞれ台本に書かせておき、音読劇の練習を通して、その工夫を増やしていきながら、作品の読みが深められるようにする。そして最後には、グループごとに他の学年に音読劇を発表し、感想を言ってもらうことで達成感を味わわせたい。

協働的に学ぶための授業づくりの工夫として、まずは毎時間、「めあて」に対する「自分の花丸」を設定させる。そして、学習の最後には、この花丸が達成できたかどうかを自分の言葉で振り返らせるようにする。また、第三次の「がまくんとかえるくん」シリーズの音読劇を演じる際には、同じ作品を演じるグループを2つ作り、お互いの音読劇を見合いながら、アドバイス等をさせるようにする。相手の演技をただ見るだけでなく、同じ作品を演じる者として自分の考えを伝えたり相手の考えを受け入れたりすることが、よりよい音読劇をつくることにつながると同時に、目的意識をもたせた話し合い活動になると考える。

## 指導改善ポイント

- 「誰の会話か」「誰の行動か」を動作化を通してとらえさせる。
- グループ同士でお互いの音読劇を見合いながらアドバイスをさせる。

### 【指導の工夫】

- 叙述を正確に読ませるために、「登場人物」「行動」「誰の会話か」が分かるように印を付けさせ、それを動作化することを通して、場面の様子をとらえさせる。
- 「お手紙」の学習の際に、音読劇の工夫のポイント（声の大きさ、読む速さ、間、立つ位置、向き、動き、距離など）を確認しておき、それを第三次で生かせるようにする。

### 【城北中学校区共通の授業改善の視点】

- ・ J（じっくり考える）… 場面の様子や音読劇の工夫を考える場面でじっくり考えさせる。
- ・ H（はっきり表現する）… 音読劇の練習や発表をする場面ではっきり表現させる。
- ・ K（繰り返し粘り強く挑戦する）… 毎時間の音読劇の練習の中で繰り返し指導していく。

## 4 単元の目標・つきたい力

### 単元の目標

- 「がまくんとかえるくん」シリーズの本に興味をもち、進んで音読劇に取り組もうとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- ◎ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。  
(読むこと ウ)
- 主語と述語の関係を理解することができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(カ))

### つきたい力

- ◎ 登場人物の行動をとらえ、場面の様子について想像を広げながら読む力。
- 話の内容が伝わるように、工夫して音読する力。
- ㊦ ・だれが、何をするのか、どんなことを言うのかに気をつけて読む力。  
・だれが、何をするのか、どんなことを言うのかがたわるように、くふうして音読する力。

## 第3学年へのつながり

### 学習指導要領

#### 〔C 読むこと〕

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

## 5 単元の観点別評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
「登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み，音読劇で表現する言語活動」を通じた指導 〔具体的な言語活動：「がまくんとかえるくん」げき場をひらこう〕		
○ 「がまくんとかえるくん」シリーズの本に興味をもち，進んで音読劇に取り組もうとしている。	◎ 場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。(ウ)	○ 主語と述語との関係を理解している。(イ(カ))

## 6 指導と評価の計画

(全15時間 本時☆印)

次	学習内容(時数) ○ 発問	評価			
		関	読	言	評価規準(評価方法)
一	・「お手紙」を読み，内容をつかむ。(1/15)	◎			・おおまかな内容をつかみ，感想を書いている。(ノート)
	・つきたい力を明確にして，単元のゴールを決め，学習計画を立てる。(2/15)	◎			・最終ゴールに向けて，見通しをもっている。(ノート)
二	・「お手紙」を読み，時，場所，登場人物，会話を確認し，場面分けをする。(3/15) ○時，場所，登場人物に注意しながら場面分けをしましょう。 ○誰の会話か分かるように，印をつけましょう。		○		・時，場所，登場人物をおさえて場面分けをしている。(台本) ・主語と述語との関係を理解している。(台本)
	・手紙をもらえないがまくんの様子をとらえ，音読劇の工夫を考える。(4/15) ○なぜ，がまくんだけではなくかえるくんも悲しいのでしょうか。		◎		・がまくんの悲しんでいる様子やかえるくんの様子から想像を広げ，音読や動きの工夫を考えている。(台本)
☆ 2-2	・手紙を書いたかえるくんの様子をとらえ，音読劇の工夫を考える。(5/15) ○かえるくんはなぜ大急ぎで家に帰ったのでしょうか。		◎		・がまくんを喜ばせようと手紙を書くかえるくんの様子から想像を広げ，音読や動きの工夫を考えている。(台本)
	・手紙を待つことをあきらめたがまくんとそんながまくんを懸命に励ますかえるくんの様子をとらえ，音読劇の工夫を考える。(6/15) ○がまくんとかえるくんはそれぞれどんな思いで手紙を待っているのでしょうか。		◎		・手紙を待つことをあきらめたがまくんの様子やそんながまくんを懸命に励ますかえるくんの様子から想像を広げ，音読や動きの工夫を考えている。(台本)

☆ 2-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>かえるくんの手紙の内容やそれを知ったときのがまくんの様子をとらえ、音読劇の工夫を考える。(7/15)</li> <li>○お手紙の内容を読むときには、どのように読めばいいでしょう。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>かえるくんが書いた手紙の内容のやりとりから二人の様子を想像し、音読や動きの工夫を考えている。(台本)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙を待つ二人の様子をとらえ、音読劇の工夫を考える。(8/15)</li> <li>○二人は、書いてあることが分かっている手紙をどうして長い間待っていたのでしょうか。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>しあわせな気持ちでお手紙を待つ様子から想像を広げ、音読や動き、距離の工夫を考えている。(台本)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読劇を発表し、感想を交流する。(9/15)</li> <li>○友達のグループのよいところを見つけましょう。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子や登場人物の行動に合った劇の工夫(声の大きさ、読む速さ、間、立つ位置、向き、動きなど)を考え、表現している。(音読劇)</li> </ul>
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>「がまくんとかえるくん」シリーズの選んだ作品を読み、時、場所、登場人物、会話を確認する。(10/15)</li> <li>○時、場所、登場人物を確認し、誰の会話か分かるように、印をつけましょう。</li> </ul>	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>「がまくんとかえるくん」シリーズの本に興味をもち、進んで読もうとしている。(行動観察)</li> <li>誰の会話かをつかんでいる。(台本)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子が伝わるように音読や動きの工夫を考える。(11/15)</li> <li>○がまくんやかえるくんがどんなことを言っているか、どんな様子なのかを想像しながら、音読劇の工夫を考えてみましょう。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子をとらえ、音読や動きの工夫を考えている。(台本)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子が伝わるように音読劇の練習をする。(12/15)</li> <li>○自分たちが考えた音読や動きの工夫を生かしながら、音読劇の練習をしましょう。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子が伝わるように、音読や動きを工夫している。(音読劇)</li> </ul>
☆ 2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ作品を選んだグループで音読劇を見合いながら練習をする。(13/15)</li> <li>○同じ作品を選んだグループ同士で、お互いの音読劇を見合いましょう。そして、感想を伝えたり、アドバイスをしたりしましょう。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の演じ方のよさを取り入れられたり、自分の演じ方を改善したりしている。(台本・音読劇)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読劇を発表し、感想を伝え合う。(14/15)</li> <li>○友達のグループのよいところを見つけましょう。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子や登場人物の行動に合った音読劇の工夫(声の大きさ、読む速さ、間、立つ位置、向き、動きなど)を考え、表現している。(音読劇)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を振り返ってまとめる。(15/15)</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習を通してついた力を具体的に振り返っている。(ノート)</li> </ul>

## 7 本時の学習（2組）


### （1）本時の目標（第5時／全15時）

手紙を書いたかえるくんの様子を想像し、音読劇の工夫を考える。

### （2）授業の視点

場面の様子が伝わるような音読劇にするために、かえるくんの行動や様子について全体で確認してから、音読劇の工夫を考えさせる。

### （3）本時の学習展開

	学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援	【観点】 評価規準 (評価方法)
課題の提示 (5)	1 単元のゴールを確認し、前時までの振り返りをする。	・音読劇に向けた学習の進捗状況を確認することで本時の学習に対しての意欲を高めさせる。	
	2 本時のめあてを確認する。		
	3 自分の振り返りの視点を設定する。 例  かえるくんになりきってようすや気持ちを考え、音読げきをくふうする。		
課題の解決 (30)	4 本文を音読し、かえるくんの行動や様子を確かめる。 ◎ かえるくんはなぜ大急ぎで家に帰ったのでしょうか。 ・今すぐにお手紙を書きたかったから。 ・早くがまくんにお手紙が届いてほしかったから。	・二・三場面を音読させる。  K (繰り返し粘り強く挑戦する。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、繰り返し音読させる。</li> </ul> J (じっくり考える。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・かえるくんが大急ぎで帰っている様子をじっくり考えさせる。</li> </ul>	【読む能力】 がまくんを喜ばせようと手紙を書くかえるくんの様子から想像を広げ、音読や動きの工夫を考えている。(台本)
	5 台本に音読劇の工夫を書き、交流する。	・台詞の言い方や動きの工夫をグループで交流させる。 ☆ 友達の工夫を聞き、自分が考えていなかった工夫も確認し、グループ全員が同じ工夫を台本に書き込むことができるようにする。	
	6 音読劇の練習をする。	・グループごとに分かれて練習させる。	



## 7 本時の学習（3組）


### （1）本時の目標（第7時／全15時）

手紙について話すかえるくんと手紙の中身を知ったがまくんの様子を想像し、音読劇の工夫を考える。

### （2）授業の視点

場面の様子が伝わるような音読劇にするために、手紙は来ないとあきらめていたがまくんが、かえるくんのひと言で少しずつ変わっていく様子を確認してから、音読劇の工夫を考えさせる。

### （3）本時の学習展開

	学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援	【観点】 評価規準 (評価方法)
課題の提示 (5)	1 単元のゴールを確認し、前時までの振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読劇に向けた学習の進捗状況を確認することで本時の学習に対する意欲を高めさせる。</li> </ul>	
	2 本時のめあてを確認する。		
	手紙のことを話すかえるくんと、それを聞くがまくんのようにすをそうぞうし、音読げきのくふうを考える。		
	3 自分の振り返りの視点を設定する。 例  読むはやさや体のむきをくふうする。		
課題の解決 (30)	4 本文を音読し、登場人物の行動を確かめる。 ◎ かえるくんはどうして何度も窓の外をのぞいているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が書いたがまくんへの手紙がまだ来ないと気になっているから。</li> <li>かたつむりくんがそろそろ手紙を持ってきてくれるのではないかと待っているから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四場面を音読させる。教師が地の文を読み、児童には会話文を読ませる。その際、自分なりに工夫して読ませる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>K</b> (繰り返し粘り強く挑戦する。) <ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間、繰り返し音読させる。</li> </ul> </div>	
	◎ がまくんはいつベッドから起き上がったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>かえるくんにまどの外を見ている理由をたずねたとき。</li> <li>かえるくんから、自分宛に手紙を書いたというのを聞いたとき。</li> </ul>		
	5 音読劇の工夫を考える。 ◎ お手紙の内容を読むときには、どのように読めばいいのでしょうか。台本に工夫を書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>しっかりと聞いてほしいからやさしい声で読む。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>J</b> (じっくり考える。) <ul style="list-style-type: none"> <li>お手紙を読んでいるときの場面の様子をじっくり考えさせる。</li> </ul> </div>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うれしそうに読む。</li> <li>・ がまくんの方を向いてゆっくり読む。</li> </ul> <p>◎ 「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」をどのように読めばいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うれしいと思っていると思うから、笑顔で言う。</li> <li>・ かえるくんがゆっくり読んでくれたから、がまくんもゆっくりと言う。</li> </ul> <p>6 ペアで音読劇の練習をする。</p> <p>7 音読劇を交流する。</p> <p>◎ 工夫した所を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がまくんはかえるくんの行動を不思議に思ったから、かえるくんのそばに行って、聞いた。前の場面より声をゆっくりにした。</li> <li>・ かえるくんは、がまくんにしっかりと聞いてほしいから、がまくんの方をむいて、ゆっくりと話した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 叙述から、登場人物の立ち位置や向き、会話文の読む速さなどを考えさせる。</li> </ul> <p>☆ 音読劇の工夫の観点として、声の大きさ、読む速さ、間、表情などを示し、その中から考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一場面の「ああ。いちども。」の「ああ。」との違いに着目させる。</li> <li>・ ペアでがまくんとかえるくんのやりとりを中心に練習させる。</li> </ul> <div data-bbox="917 907 1284 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H (はっきり表現する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工夫したことをはっきりと言わせる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表していくつかのペアに発表させる。</li> <li>・ 工夫した点も発表させる。</li> </ul>	<p><b>【読む能力】</b> かえるくんの書いた手紙の内容のやりとりから二人の様子を想像し、音読や動きの工夫を考えている。(台本)</p>
<p>まとめ・振り返り (10)</p>	<p>8 本時のまとめ・振り返りを書く。</p> <div data-bbox="252 1332 885 1541" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>かえるくんは、がまくんをしっかりと見て、手紙の中みをゆっくりと話す。がまくんの「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」は、ゆっくりとうれしそうに言う。</p> </div> <div data-bbox="252 1563 885 1749" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>わたしは、かえるくんの手紙のところは、がまくんへのやさしい気もちがこめられていると思ったので、がまくんの方をむいてゆっくりと言いました。</p> </div> <p>9 次時の活動について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流したことを生かし、自分の考えをまとめさせる。</li> <li>・ 次時は、お手紙を待つ二人の様子を学習することを伝える。</li> </ul>	

## 7 本時の学習 (1組)


### (1) 本時の目標 (第13時/全15時)

同じ作品を選んだグループ同士で音読劇を見合い、友達からのアドバイスを自分の音読劇に生かす。

### (2) 授業の視点

同じ作品を選んだグループ同士で音読劇を見合うことで、お客さんからの見え方を意識したアドバイスだけではなく、演じ方のよさを見つけたり、作品のとらえ方を交流したりして、場面の様子についての想像を広げさせる。

### (3) 本時の学習展開

	学習活動 ◎発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意事項 ☆つまずきへの支援	【観点】 評価規準 (評価方法)
課題 の 提示 (5)	<p>1 単元のゴールを確認し、前時までの振り返りをする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ペアのグループで音読げきを見合い、友だちからのアドバイスを自分の音読げきに生かす。                 </div> <p>3 自分の振り返りの視点を設定する。</p> <p>例  声の大きさやうごきのくふうをふやす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読劇に向けた学習の進捗状況を確認することで本時の学習に対しての意欲を高めさせる。</li> </ul>	
課題 の 解決 (30)	<p>4 グループごとに音読劇の練習をする。</p> <p>5 ペアのグループで音読劇を見合う。 ◎ 同じ作品を選んだグループ同士で、お互いの音読劇を見合しましょう。そして、感想を伝えたり、アドバイスをしたりしましょう。</p> <p><b>クッキー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「がまくんがかなしそうにいました。」のところは、下を向いて言ったらいい。</li> </ul> <p><b>はるがきた</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かえるくんがカレンダーを見つめて、やぶるまでには少し間を取った方がいい。</li> </ul> <p><b>ぼうし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がまくんがぼうしをかぶって歩いているところは、もう少し何か動きを入れた方がいい。</li> </ul> <p>6 台本に音読劇の工夫を書き加え、練習する。 ◎ ペアのグループからアドバイスして</p>	<p>H (はっきり表現する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子が伝わるように、はっきり音読させる。</li> <li>同じ作品を選んでいるグループ同士で音読劇を見合い、声の大きさや動きなどをアドバイスする。</li> <li>時間を決めて、どちらのグループも音読劇ができるようにする。そのため、自分たちで見てほしい場面を中心に演じさせる。</li> </ul>	

	<p>もらったことや、友達の声読劇を見て自分の劇に取り入れたいと思ったことを台本に書き加えましょう。</p> <p><b>クッキー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「がまくんがかなしそうにいました。」のところは、小さな声で下を向いて言う。 <p><b>はるがきた</b></p> <li>かえるくんががまくんのカレンダーを見つめて、やぶるまでには少し間を取って言う。 <p><b>ぼうし</b></p> <li>がまくんがぼうしをかぶって歩いているところは、ナレーターに合わせて、岩にぶつかったり、木にぶつかったりしたときの動きを入れる。</li> </li></li></ul>	<p>J (じっくり考える。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子にあった劇の工夫をじっくりと考えさせる。</li> </ul> <p>☆ 工夫を書き加えるのが難しい児童には、ペアのグループで同じ役をしていた友達のよかったところを参考に考えさせる。</p>	<p><b>【読む能力】</b></p> <p>友達の演技方のよさを取り入れたり、自分の演技方を改善したりしている。 (台本・声読劇)</p>
<p>まとめ・振り返り (10)</p>	<p>◎ 台本に書いたことを生かしながら、もう一度声読劇の練習をしてみましょう。</p> <p>7 全体で交流する。</p> <p>8 本時のまとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>( )ばめんの( ) は、( )ようすがつた わるように( )にする。</p> </div> <p><b>クッキー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クッキーを鳥たちにもっていかれた場面のがまくんの会話文は、がまくんの悲しそうな様子が伝わるように、小さな声で下を向いて言う。</li> </ul> <p>9 振り返りを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わたしは、〇〇くんのアドバイスで「かなしそうに」というところの、声の大きさや顔のむきなどのくふうがつけたせたのでよかった。</p> </div> <p>10 次時の活動について確認する。</p>	<p>K (繰り返し粘り強く挑戦する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台本に書いたことをもとに、繰り返し声読させ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師が選んだグループに発表させる。その際、どんなアドバイスを受けたのか、どんな工夫を付け加えたのかを言わせて、声読劇の一部分を演じさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時は、グループごとに声読劇の発表をすることを伝える。</li> </ul>	